

引用文献

- 安藤布紀子,中西伸子,倉富純子,高島由香,永尾真由美,橋場英子,馬場早富,大平純子(2017).産後ケア事業の必要性に関する調査研究.大阪母性衛生学会雑誌,53(1),49-54.
- 出石万希子,高橋悟子,松尾早枝子,橋岡由奈子,中井恭子,木村知子(2014).B病院の産後ケア入院の課題についての一考察 産後 4 ヶ月までの母親の育児サポート状況の調査結果から.聖泉看護学研究,3,67-73.
- 原田正文(2006).II-3 母子を取り巻く環境－孤立化が進む中、子育て仲間を求める母親たち.子育ての変貌と次世代育成支援:兵庫レポートにみる子育て現場と子ども虐待予防.名古屋大学出版会,142-143.
- 林謙治 (2017a).平成 28 年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業 産前・産後の支援のあり方に関する調査研究.公益社団法人 母子保健推進会議.
<http://bosui.or.jp/pdf/2016research.pdf>[最終閲覧日 2020-01-29]
- 林謙治 (2017b).「産前・産後サポート事業ガイドラインおよび産後ケア事業ガイドライン」導入の背景と社会的意義.助産雑誌,71(12),942-947.
- 稲田千晴,島田真理恵,相良有紀,山本詩子,岡本登美子,葛西圭子,&岡本喜代子(2018).産後ケアならびに産後ケア事業の実態調査.母性衛生,58(4),693-701.
- 磯山あけみ(2018).産後 1 か月の母親の心身の自覚に関連する要因の検討.上智大学総合人間科学部看護学科紀要,4,13-21.
- 伊藤成美(2019).鹿児島県内の産後ケア事業の実施状況の現状調査.鹿児島県母性衛生学会誌,23,36-39.

小松崎愛美,斎藤泰子,青山廣子,阿部秀行,萩原玲子,丹波恵津子,山田静江,竹井芳子,谷口真理,富田素子,小堀由祈子,渡部たず子,阿部正,&宮里和子(2011).産後ケア事業の評価 武蔵野大学付属産後ケアセンター桜新町利用者アンケートから.武蔵野大学看護学部紀要,5,59-68.

小松崎愛美,斎藤泰子,小山千秋,青山廣子,萩原玲子,丹波恵津子,谷口真理,富田素子,宮里和子(2014).産後ケア事業の評価 利用時期別のケアニーズ.武蔵野大学看護学部紀要,8,63-68.

小西清美,長嶺恵理子,大浦早智,大城早苗(2018).A 市における産後ケア促進のための現状と課題 産後ケアサービスのニーズ調査から.沖縄の小児保健,45,36-43.

江東区 (2019). 江東区ホームページ. 産後ケア事業,
<https://www.city.koto.lg.jp/260501/kodomo/ninshinshussan/kenko/99710.html>,
[最終閲覧日 2020-1-30]

厚生労働省(2011). 平成 23 年人口動態統計月報年計(概数)の概況:結果の概要.
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai11/kekka02.html>[最終
閲覧日 2020-01-29]

厚生労働省(2013).結果の概要.
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai13/dl/kekka.pdf> [最終
閲覧日 2020-01-29]

厚生労働省(2016).平成 28(2016)人口動態統計(確定数)の概況. 人口動態総論の年次推移.
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei16/dl/04_h2-1.pdf [最終
閲覧日 2020-01-27]

厚生労働省 (2017a).平成 29 年(2017) 人口動態統計月報年計(概数)の概況.
<http://www.pinkribbonfestival.jp/about/pdf/h29.pdf> [最終閲覧日 2020-01-29]

厚生労働省 (2017b).産前・産後サポート事業 産後ケア事業ガイドライン.

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000->

[Koyoukintoujidoukateikyoku/sanzensangogaidorain.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/sanzensangogaidorain.pdf) [最終閲覧日 2020-01-29]

厚生労働省(2018).平成 30 年 我が国の人口動態.

www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/81-1a2.pdf [最終閲覧日 2020-01-29]

野口真貴子,高橋紀子,藤田和佳子,安積陽子,& 高室紀子(2018).札幌市産後ケア事業を利用した女性の認識.*日本助産学会誌*,32(2),178-189.

荻原玲子,青島恵美子,桑原さやか,山田静江,村上智子(2017)[なぜ今メンタルヘルスケアなのか?]産後ケアセンターの特徴からメンタルヘルスを考える.*周産期医学*, 47(5),629-632.

櫻谷眞理子(2004).今日の子育て不安・子育て支援を考える～乳幼児を養育中の母親への育児意識調査を通じて.*立命館人間科学研究*,7,75-86.

世田谷区 (2020). 世田谷区ホームページ. 産後ケア事業,

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/001/003/d00017876.html1>,

[最終閲覧日 2020-1-30]

島田真理恵(2018).[助産師が行う産後ケア 自立を支援する視点から]産後ケアで助産師が担う役割とは 基本的な考え方とその背景.*助産雑誌*,72(6),406-409.

島田三恵子,杉本充弘,縣俊彦,新田紀枝,関和男,大橋一友,村上睦子,中根直子,神谷整子,戸田律子,盛山幸子(2006).産後1か月間の母子の心配事と子育て支援のニーズおよび育児環境に関する全国調査-「健やか親子 21」5年後の経産婦別,職業の有無による比較検討-.*小児保健研究*,65(6),752-762.

総務省(2015). 平成 27 年国勢調査 世帯構造等基本集計結果 結果の概要.

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka/kihon3/pdf/gaiyou.pdf> [最終閲覧日 2020-01-28]

総務省(2016).平成 27 年度国勢調査 世帯構造等基本集計結果 結果の概要.

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka/kihon3/pdf/gaiyou.pdf> [最終閲覧日 2020-01-27]

高橋佳子,玉熊和子,&外千夏(2018).A 県妊産婦の産前産後ケアのニーズ調査 (第 2 報) – 初産婦と経産婦の比較から – *青森中央学院大学研究紀要*,29,11-19.

玉上麻美(2001).助産院における母親の育児の実態調査-聞き取り調査から-.*大阪市立大学看護短期大学部紀要*,3,55-59.

田中美帆,斎藤いずみ(2019).産後ケア事業の利用を妨げる要因について 母親たちがより利用しやすい事業にするための課題.*母性衛生*,60(1),83-90.

田中深雪,榊原まゆみ,小林由美,小野寺幸子(2018).産前産後ケアセンターにおける母子支援の実態と課題.*健康科学大学紀要*,14,189-201.

東京都保健福祉局 (2018).東京都子供・子育て支援総合計画の中間年の見直し 第 2 章東京の子供と家庭をめぐる状況.

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/03/29/23.html> [最終閲覧日 2020-01-29]

東京都保健福祉局 (2017a).平成 29 年 人口動態統計.

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/chosa_tokei/jinkodotaitokei/kakojinkotai/heisei29nen.html [最終閲覧日 2020-01-29]

東京都保健福祉局 (2017b) .29 年度「東京の子供と家庭」報告書全文 第 1 部世帯と子ども

もの状況.

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kiban/chosa_tokei/zenbun/heisei29/29houk-okusyozenbun.files/02_013-084P.pdf [最終閲覧日 2020-01-29]

保元明子,小山田浩子,田中陽子,&上田たつえ(2019).大阪府助産師会が運営する産前産後ケアセンターの現状と課題.*助産師*,73(3),8-12.